

厚生労働科学研究費補助金
難治性疾患等克服研究事業（免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業 免疫アレルギー研究分野）
分担研究報告書

我が国における関節リウマチ治療の標準化に関する多層的研究
関節リウマチ診療拠点病院ネットワーク構築分科会

研究協力者 瀬戸 洋平 東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター 講師
分科会長・研究分担者 小池 隆夫 NTT 東日本札幌病院院長、北海道大学名誉教授

研究要旨 関節超音波講習会を通じ関節リウマチ診療の標準化と質の向上、診療拠点病院の形成と施設間の連携に寄与するため、診療拠点病院の医師、検査技師を対象とした関節超音波講習会実施のための指針を作成した。日本リウマチ学会超音波標準化委員会との連携により、前年までに開始した初級者向け講習会を全国的に継続開催し、同じく前年度提言した開催指針に則り、新たに中上級者向け講習会を開催した。

A. 研究目的

診療拠点病院の医師、検査技師を対象とした関節超音波講習会実施のための指針とモデルを作成し、講習会を通じて関節リウマチ（RA）診療の標準化と質の向上、RAの専門診療拠点病院間のネットワーク構築に寄与する。

B. 研究方法

（1）初級者向け講習会の指針作成と実施；日本リウマチ学会（以下 JCR）関節リウマチ超音波標準化小委員会と本分科会の連携により、「JCR 関節超音波検査初心者向け講習会開催指針」に基づいた講習会を JCR 各支部で開催した。

（2）中上級者向け講習会の指針作成と実施；平成 24 年度に本分科会で作成した中上級者向け講習会開催に関する提言を基に、JCR 関節超音波標準化小委員会と本分科会の連携により中上級者向け講習会（以下アドバンスコース）を開催した。

（倫理面への配慮）

本研究は関節超音波講習会の指針立案、提言と実施を内容としており、医療行為をはじめとする、研究対象に対する介入を行っておらず、倫理的な問題は存在しない。

C. 研究結果

（1）平成 25 年度は JCR 全支部（九州沖縄、中国四国、近畿、関東で開催済み、年度内に北海道東北、中部でも予定）でカリキュラム、実習・座学所要時間、参加者数、講師数を標準化した講習会が開催されることとなった。応募者数は支部毎に定員の 1.2～3.1 倍で幅があり、既に開催済みの支部における参加者中 7～9 割が医師、残りが検査技師であった。講習会終了時に実施した参加者アンケートの結果、前年度開催した講習会での結果と同様に、各支部ともに講習会全体および講義、各検査部位の実習に対する満足度は良好であり、今後同様のプログラムでの継続が適当と思われた。

（2）前年度の本分科会による提言を基にアドバンスコース開催を立案、参加対象者は JCR 初心者向け講習会または同等の講習会を受講し、1 年以上あるいは 100 件程度の関節超音波検査実施経験ならびにリウマチ性疾患に関する知識と臨床経験を有することとした。平成 25 年 9 月 21 日から 2 泊 3 日の日程で JCR 関節リウマチ超音波標準化委員会により開催、参加者 39 名に対し、同委員会委員および委員推薦のエキスパートによる講義、実習が行われ、患者ボランティアを被験者とした実習も含まれた（図）。参加

者からは講義，実習ともに内容，資料，所要時間について良好なアンケート結果が得られ，年1回の開催を継続のうえ，知見を蓄積し今後改訂を重ねることを本分科会では勧奨することとした。

D. 考察

JCR 関節リウマチ超音波標準化小委員会との連携により，標準化された初心者向け講習会の定期開催が行われ，拠点病院における診療の質向上，標準化に寄与することが期待される。

またアドバンスコースを開催したことにより，参加者は各支部での指導的な役割を担うことが可能となり，各地域での教育，診療の充実が図られることが予想される。また講習会を通じて研修修了者がお互いに連携をとることにより拠点病院間のネットワーク構築にも寄与することが可能と思われる。

今後は JCR など学会を主体として講習修了者を中心とした関節超音波実施者の登録，認定につなげることにより，関節超音波を実施可能な施設であることも基準のひとつとした拠点病院の確立や連携に本研

究成果が生かされることが期待される。

E. 結論

関節超音波検査に関する，標準化された初心者向け講習会およびアドバンスコースのカリキュラムが作成され，定期的な開催が実現した。本分科会での提言を基に JCR 関節リウマチ超音波標準化委員会による活動の継続が行われる予定である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

図:アドバンスコースタイムテーブル

| 1日目 | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 | 16:00 | 17:00 | 18:00 | 19:00 | 20:00 | 21:00 | 22:00 |
|-----|------|-------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|-------------|-------|-------|
| | | | | | 開会式 | 講義 機器の設定と機器間の違いならびに検査記録の方法について | 実習 肘関節の解剖と標準スキャン(デモ)、病的所見とビットフォール | 実習 肩関節の解剖と標準スキャン(デモ)、病的所見とビットフォール | 講義 Gradingの現状と限界 | 共有セミナー EULAR(臨床診断に関するレスポンスセッション) | 講義 関節超音波所見の重症度分類の実際【グレーディング大会】 | | | |
| 2日目 | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 | 16:00 | 17:00 | 18:00 | 19:00 | 20:00 | 21:00 | 22:00 |
| | | 講義 Global score について | 実習 腕関節の解剖と標準スキャン(デモ)、病的所見とビットフォール | 実習 足趾関節の解剖と標準スキャン(デモ)、病的所見とビットフォール | 共有セミナー 「関節超音波検査の診療へのフィードバック」 | 実習 RA患者 パワードプラによる評価とディスカッション | 実習 RA患者 パワードプラによる評価とディスカッション | 写真撮影 | 講義 RAと鑑別すべき疾患の超音波所見 | 実習 足関節の解剖と標準スキャン(デモ)、病的所見とビットフォール | 共有セミナー 「RAと関節超音波検査に関するトピックス」 | フリーディスカッション | | |
| 3日目 | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 | 16:00 | 17:00 | 18:00 | 19:00 | 20:00 | 21:00 | 22:00 |
| | | 講義 実臨床での応用と問題点・課題 | 講義 臨床研究での応用 | 講義 関節穿刺への応用 | 実習 ガイド下穿刺のイントロダクション | まどめ 閉会式 | | | | | | | | |